

# 第 24 期 事 業 報 告

(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

## 1 株式会社の現況に関する事項

### 1-1 事業の経過及び成果

平成28年度までの4年間の京都市との京都市勧業館指定管理者協定期間の最終年度となる今期は、その公募選定時に提案した経営計画、事業計画を社員一丸となって誠実に遂行するとともに、これまでに蓄積してきた施設運営のノウハウ、地域連携の取組等を活かした経営計画、事業計画を策定し、7月に実施された平成29年度から向こう4年間の次期指定管理者の公募選定に応募いたしました。結果、当社の提案した計画が評価され、引き続き指定管理者に選定されました。

今期は、勧業館が開館20周年を迎えた年でもありました。7月には記念式典及び記念講演会を開催し、これまで勧業館をご利用していただいた多くの方々に感謝の意を表すとともに、今後のさらなる飛躍を誓いました。そのような節目の年となった平成28年度の会社全体の売上高は、本業である勧業館の稼働率が近年では最高の成績となり、また、ロームシアター京都がリニューアルオープンしたこと等から駐車場の利用も好調に推移し、会社全体の売上高は、昨年度より86,165千円増の937,683千円となりました。

当社の主要事業である勧業館事業については、大型の学術会議の招致に成功するなど年間を通して好調に推移し、稼働率は53.66%となり、2年振りに50%台に回復させることができました。「多目的に利用できる施設だと知ってもらおう」取組の成果であるとともに、「使いやすい施設だと思ってもらう」ように取り組んできた催事運営面における総合サービス、サポート体制を充実させることについても評価をいただけたものと考えています。また、稼働率の上昇に伴い来館者数も近年で最高の135万人となり、駐車場を含む施設利用料収入は昨年度より91,872千円増の652,963千円となりました。

京都伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ事業については、商品売上高は50,455千円でほぼ昨年度と同様の実績となりましたが、外国人観光客等への周知を図ってきた免税の取扱いについては、今年度から取扱いの下限額が引き下げられたという背景はあるものの、売上高実績が昨年度より20%以上も増加いたしました。

自主企画事業については、3回目の開催となり、夏の定番イベントとなりつつある「電車王国inみやこめっせ」をはじめ、春の「桜まつり」、秋の「かがやきめっせ」、冬の「ウィンターイルミネーション」、さらに伝統産業の日の協賛事業「京ものフェスティバル」等、四季折々の事業を展開し、市民の豊かな生活の形成並びに地元岡崎地域の賑わいの創出に貢献できたと考えます。

京都館事業については、京都館が赤坂から八重洲に移転して10年目となり、10月には、京都の老舗の女将による特別記念講演会や通常首都圏では手に入らない商品の期間限

定販売等の記念事業を展開しました。上半期は厳しかったものの下半期はまずまずの売上高となり、年間の売上高は、特設コーナーの売上が好調だった昨年度には届かなかったものの、148,090千円を確保することができました。

費用面では、安心、快適な施設として勸業館をご利用いただく方々の信頼に応えるため、これまでから施設の修繕、備品の充実に取り組んでおり、今期は液晶プロジェクター2基、スクリーン5張りを新たに購入したほか、折たたみ机も一部新調しましたので、貸出備品費が増加いたしました。また、経年劣化等による修繕が増えたため、修繕費が増加いたしました。売上原価についても、京都市に納める施設負担金が昨年度より10,000千円増額になったことにより増加いたしました。さらに今期は、開館20周年記念事業を実施いたしましたので、その費用他9,031千円を特別損失に計上いたしました。

以上のことから、今期は売上原価、販売費及び一般管理費ともに増加いたしました。それを上回る売上高の増加が達成できたため、売上総利益、営業利益及び経常利益のすべてにおいて昨年度を上回る結果となり、特別損失を計上してもなお税引前当期純利益は、昨年度を26,763千円上回る52,570千円となりました。

#### 1-2 直前三事業年度の財産及び損益の状況

区 分	第21期	第22期	第23期	第24期 (当事業年度)
売上高	818,986千円	840,483千円	851,518千円	937,683千円
当期純利益	21,460千円	25,463千円	17,626千円	34,363千円
一株当たり当期純利益	11,922円37銭	14,146円58銭	9,792円41銭	19,090円70銭
純資産	421,126千円	446,590千円	464,216千円	498,580千円

#### 1-3 当該事業年度における主要な事業内容

当社が現在行っている事業の主なものは、次のとおりです。

##### (1)勸業館事業

展示場及びその付随施設、会議室、ギャラリーの貸出、展示会の企画運営サービス、駐車場管理

##### (2)京都伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ事業(「京紫苑」の運営)

伝統工芸品の販売

##### (3)自主企画事業

電車王国 in みやこめっせ、伝統産業の日 in みやこめっせ協賛事業・京ものフェスティバル及び桜まつり、かがやきめっせ(以上岡崎魅力づくり推進協議会コラボレーション事業)等の実施

#### (4)京都館事業

京都市受託事業の実施(京都館の運営, イベントの実施, 京都情報の発信等)及び京都製品の販売

#### 1-4 当該事業年度の末日における主要な営業所及び使用人の状況

##### (1)主要な営業所

本店 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

東京支店 東京都中央区八重洲二丁目1番1号 ヤンマー東京ビル1F

##### (2)使用人の状況

従業員数 (うち, 臨時社員数)	前事業年度末比増減
37人 (15人)	増減なし

(注)従業員数には, 臨時社員を含んでいます。

## 2 株式に関する事項

### 2-1 株式数

(1)発行可能株式総数	4,000 株
(2)発行済株式の総数	1,800 株
(3)当事業年度末の株主数	9 名

### 2-2 株主及びその持株数

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
京都市	1,080	60.0
京都府	100	5.6
京都商工会議所	100	5.6
公益財団法人京都伝統産業交流センター	100	5.6
公益社団法人日本図案家協会	100	5.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	90	5.0
株式会社京都銀行	90	5.0
京都信用金庫	80	4.4
京都中央信用金庫	60	3.3
合計	1,800	100.0